

平成26年度「ぬくもり弁当」事業計画（案）

1. 目的

地域で生活する障害者の方々を対象に日々の援助と生産・サービス活動を通じて、利用者個々の地域社会での自立と社会参加を促進し地域の拠点としての事業所を目指す。
障害者との間に雇用関係を結び、最低賃金を支払い、自立した生活への支援を目指す。

2. 方針

ノーマライゼーションの理念に基づき、障害者が地域社会から隔離されることのない「完全参加と平等」を目標に掲げ、福祉サービスの提供をし、利用者ひとりひとりの人生を豊かにするための支援と誰もが住みやすい地域社会の環境づくりに貢献していく。
作業・行事その他全ての活動が利用者主体であることを大前提とし、利用者の主体性・自己決定を尊重した上で本人のエンパワーメントに着目する。
また、家庭との連絡調整を密にし個々の能力に応じた支援を心がける。

3. 事業内容

- ・お弁当の製造・販売（ぬくもり弁当）
- ・地域食堂の営業（おちゃらけ亭）
- ・ファーストフードの製造販売（たこ八）
- ・しいたけカレーや佃煮等の仕入れ販売（道の駅）
- ・ぬいぐるみ、魔法のたわし等の製造販売（道の駅）

4. 営業日及び営業時間

- ・営業日は、月曜日から金曜日（但し、祭日・お盆・年末年始は、休み）
- ・営業時間は、午前8時45分から午後5時30分

5. 利用定員数 40名

現利用数 19名（ぬくもり15名・おちゃらけ亭2名・たこ八2名）

6. 事業所理念

（1）利用者のための事業所

- ・利用者を障害の種類や程度で分類しない
- ・利用者のニーズや条件にかなった対応の実践
- ・利用者の生活条件の整備
- ・生活の質の向上に対する調査・研究・実践
- ・安易な保護管理をしない事業所

(2) 利用者の権利が保障される事業所

- ・利用者が中心であること
- ・利用者の主体性・選択を尊重する
- ・能力や特性を発揮できる条件の整備
- ・労働の場の保障
- ・社会参加の場の保護
- ・家族との連携の中での日常的な支援の保障
- ・人生を楽しむ場の設定

(3) 運営の透明性

- ・講演会・学習会を通じて、活動の啓蒙
- ・地域社会と協力しあった形での運営
- ・情報公開をする開放的な事業所
- ・福祉サービスの質及び苦情などに対して、客観的評価システムのある事業所

7. 支援の重点目標

- (1) 情緒の安定、心配事や悩みに対して速やかに対応する
- (2) 基本的な生活習慣、生きる上での生活リズムの成立
- (3) 作業への積極的取り組み、仕事の喜びを味わっていただく
- (4) みんなが協力しながら作業に取り組めるような雰囲気づくり
- (5) 生活支援や作業支援を通じて社会的自立につなげる
- (6) 利用者の心や、体の健康に対する支援
- (7) 地域社会とのつながりを大切にしながら自ら社会貢献することにより障害者のあたりまえの社会参加を目指す

8. 支援体制

家庭との連絡を密にし利用者の特性や生活習慣を理解した上で、生活支援・作業支援を行う。又、障害の状態や能力に応じた活動や一般生活に近い環境づくりを通じて個々の利用者が地域の一員として生活できるよう支援していく。

9. 生活支援計画

職員からの指導・教育ではなく、自ら体験の中で感じ取って人としての豊かな人生を生きてほしいという視点で支援していく。

(生活支援目標)

- (1) 日常生活に必要な基本的な生活習慣の確立をめざす。
日常生活の基本である生活リズムの確立をはかり、情緒の安定を目指す。
- (2) 集団生活への積極的参加と協調性を養う。
集団での活動により、他人に対する思いやり、ふれあい、つながりを深める。
- (3) 自分の身体状態を知り健康安全の意識を高める。
日々の健康状態の把握に努め、早期発見、早期治療を心掛け健康で豊かな生活を営

めるようにする。

(4) 自分の役割・分担を果たすことにより責任感を養う。

(5) 家庭との連携をはかる。

家庭との連携に努め、協力しあって利用者の豊かな人生につながる支援をする。

(6) 余暇活動を充実させ、豊かな人生につなげていく。

適切な支援システムやプログラムの作成をしていく（個別支援計画）

10. 作業支援計画

利用者ひとりひとりに適した作業種目の設定を行い、作業における達成感や賃金を得る喜びなど、労働することにより、自立・就労への準備とする。

（作業支援計画）

(1) 基礎的な作業能力の修得をはかる。

(2) 作業を最後までやりぬく責任感を養う。

(3) 利用者や職員と協力して作業をすすめる協調性を養う。

(4) 作業を通じて人間関係の適応性を養う。

(5) 利用者の自信となるような作業内容を見出す中で労働意欲を高める。

(6) 作業工程を細分化し可能な範囲で利用者に手掛けていただき、想像力・集中力を高める。

(7) 職場実習先の開拓・一般就労先の開拓

11. 年間計画

月	内容	内容（親睦会）
4月	職員研修、美化活動	
5月		
6月	避難訓練	春の行事
7月	健康診断	
8月		夏の行事
9月		秋の行事
10月		
11月		研修旅行
12月	クリスマス会	
1月		新年会
2月	避難訓練	
3月		総会

1 2. 販売計画

(ぬくもり弁当)

- ・事務所内での作業の種類が少ないため、新規の作業を開拓し、利用者の労力の幅を広げていく。
- ・営業活動の幅を広め、新規顧客の獲得を目指す。
- ・平成27年度の弟子屈高校の売店事業に参入できる準備を行う。

(たこ八)

- ・営業等を通して、地域の方にもっと認知してもらえるようにする。
- ・新メニューを考案し、メニューのバリエーションを豊かにする。

(おちゃらけ亭)

- ・地域食堂として根付くよう、イベント等を開催する。
- ・気軽に立ち寄れる店づくりを行う。

(販売事業)

- ・販売店の新規開拓を行う。
- ・販路の拡大を図るとともに、新商品の開発を行う。
- ・商品のポップや包装のデザインを定期的に変え、工夫を行う。

1 3. その他

- ・作業の内容を定期的を確認し、全体ミーティング等を利用して、利用者全体で話し合い改善を図っていく。